



レジストリ委員会 | 2024年次報告会

J-EVT データ集計

ご登録にご協力いただきました
CVIT会員の皆様に心から感謝申し上げます

レジストリー委員会 委員長	天野 哲也
実務担当WG 委員長	香坂 俊
J-PCI リーダー	山地 杏平
J-EVT リーダー	飯田 修
J-SHD リーダー	新家 俊郎
解析担当	高原 充佳

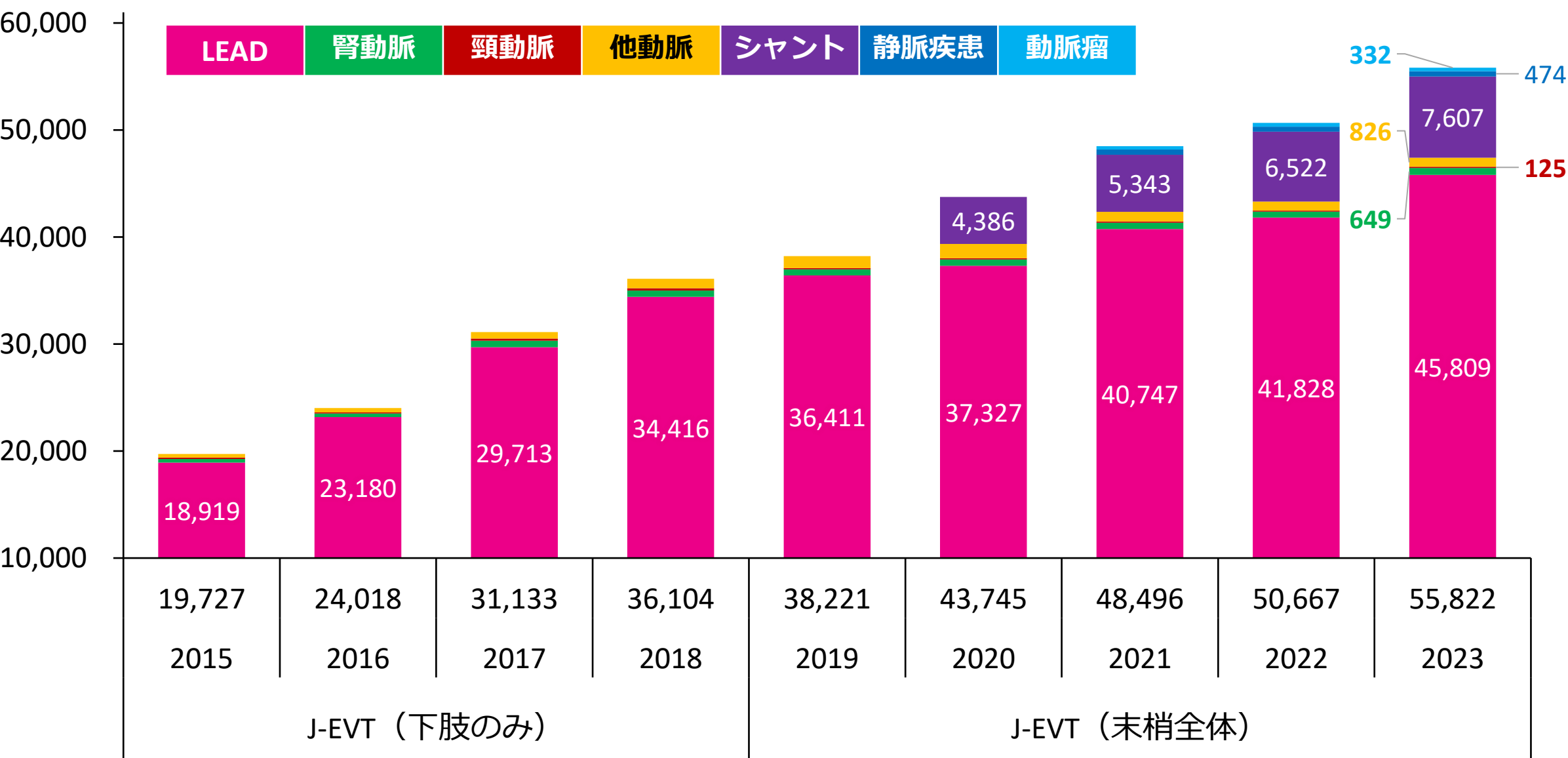


日本心血管インターベンション学会 COI開示

発表者名：**飯田 修**

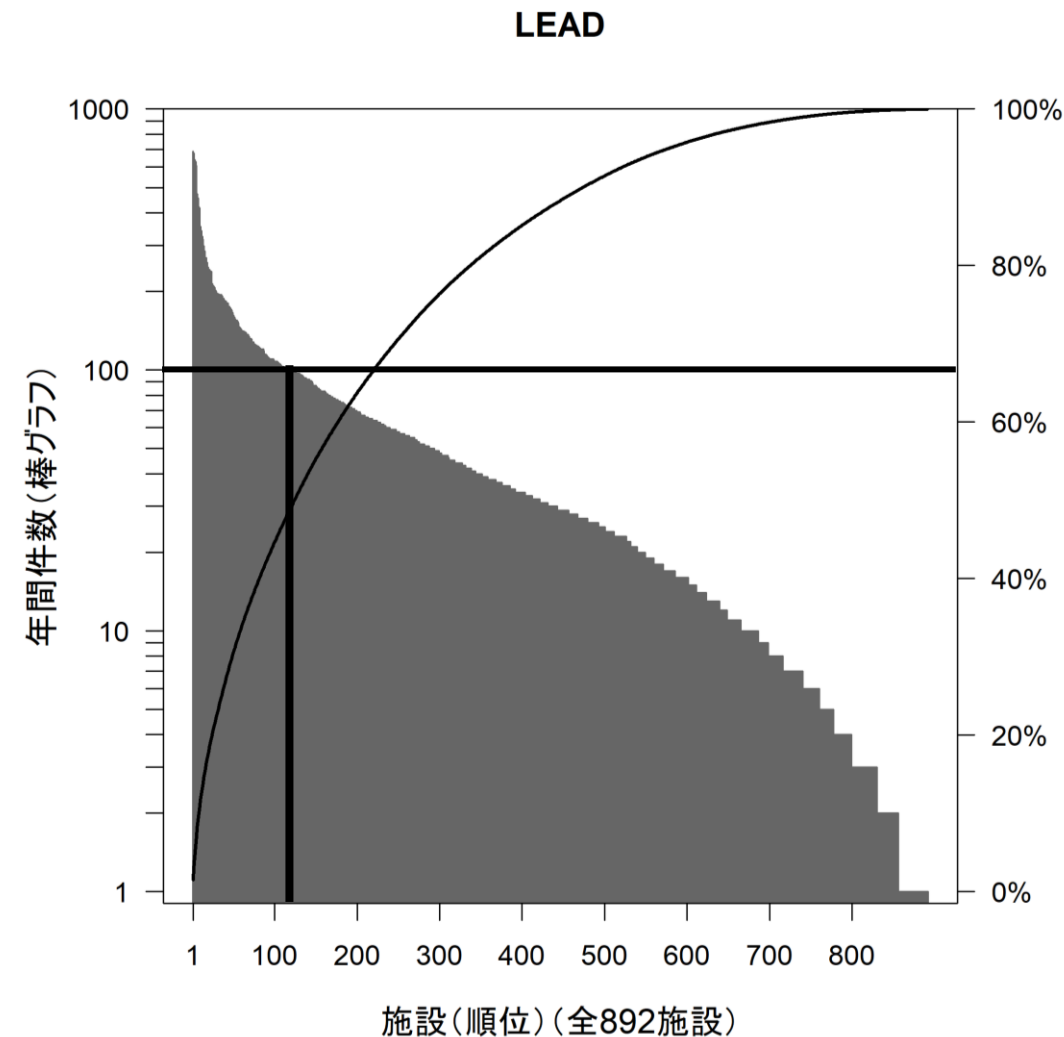
過去3年間において
演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある
企業などはありません。

J-EVT | 登録症例数の変遷: 2023年は 55,822件 (約10%増)



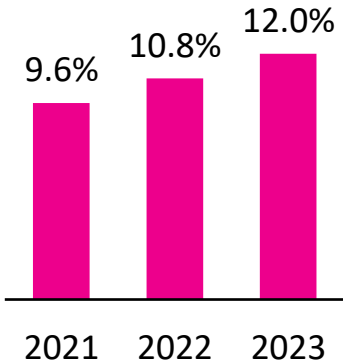
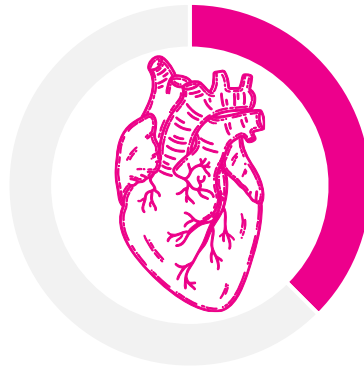
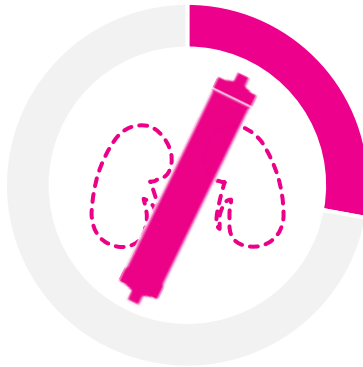
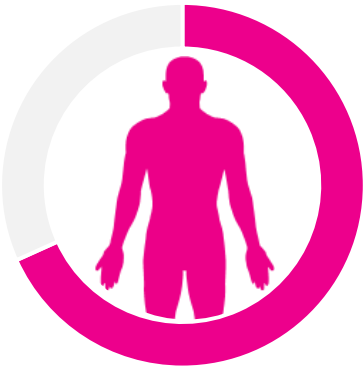
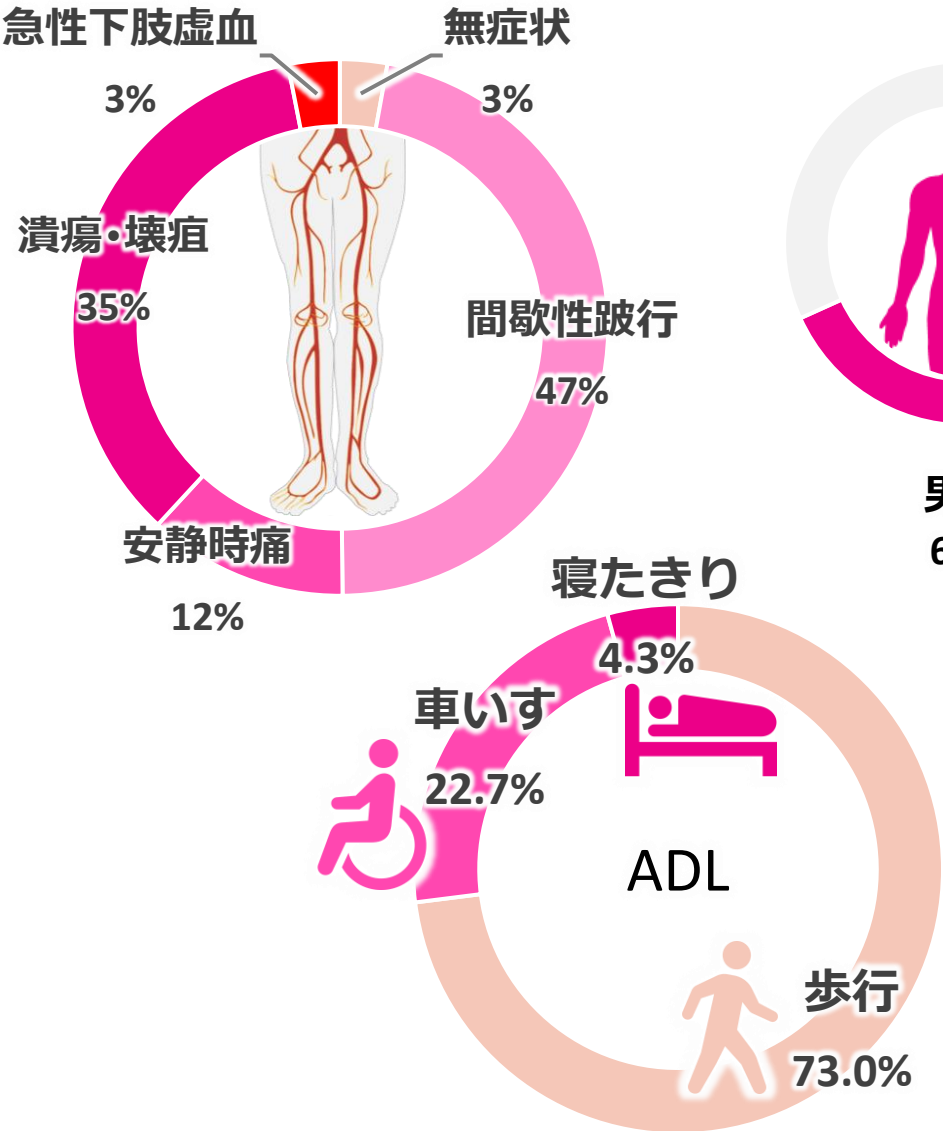
J-EVT | LEAD患者・服薬背景: LEADの半分以上はCLTI/ALI

下肢重症度		
急性下肢虚血	3.1%	[1421/45809]
間歇性跛行	47.0%	[21523/45809]
安静時疼痛	12.0%	[4678/41828]
潰瘍・壊疽	35.0%	[16048/45809]
末梢動脈疾患 (無症状)	2.9%	[1307/45809]
ADL		
車いす/寝たきり	22.7%/4.3%	[10410/45809]/[1976/45809]
歩行	73.0%	[33423/45809]
危険因子・薬剤		
男性	68.3%	[31267/45809]
年齢	76 (70 - 82)	[n=45809]
喫煙	30.3%	[13895/45809]
高血圧	78.8%	[36102/45809]
脂質異常症	55.8%	[25572/45809]
糖尿病	59.5%	[27276/45809]
腎不全/透析	43.8% / 27.9%	[20064/45809]/[12771/45809]
冠動脈疾患	37.5%	[17188/45809]
脳血管疾患	13.8%	[6318/45809]
COPD	5.0%	[2296/45809]
術前.アスピリン	70.9%	[31431/44322]
術前. P2Y12阻害薬	74.5%	[32998/44322]
術前.シロスタゾール	13.8%	[6111/44322]
術前.他の抗血小板薬	6.8%	[3022/44322]
術前.ワルファリン	4.9%	[2171/44322]
術前.DOAC	12.0%	[5337/44322]



全国でEVT施行施設は、892施設、100例以上は約100施設

J-EVT | LEAD患者背景: LEADはCADと異なる背景

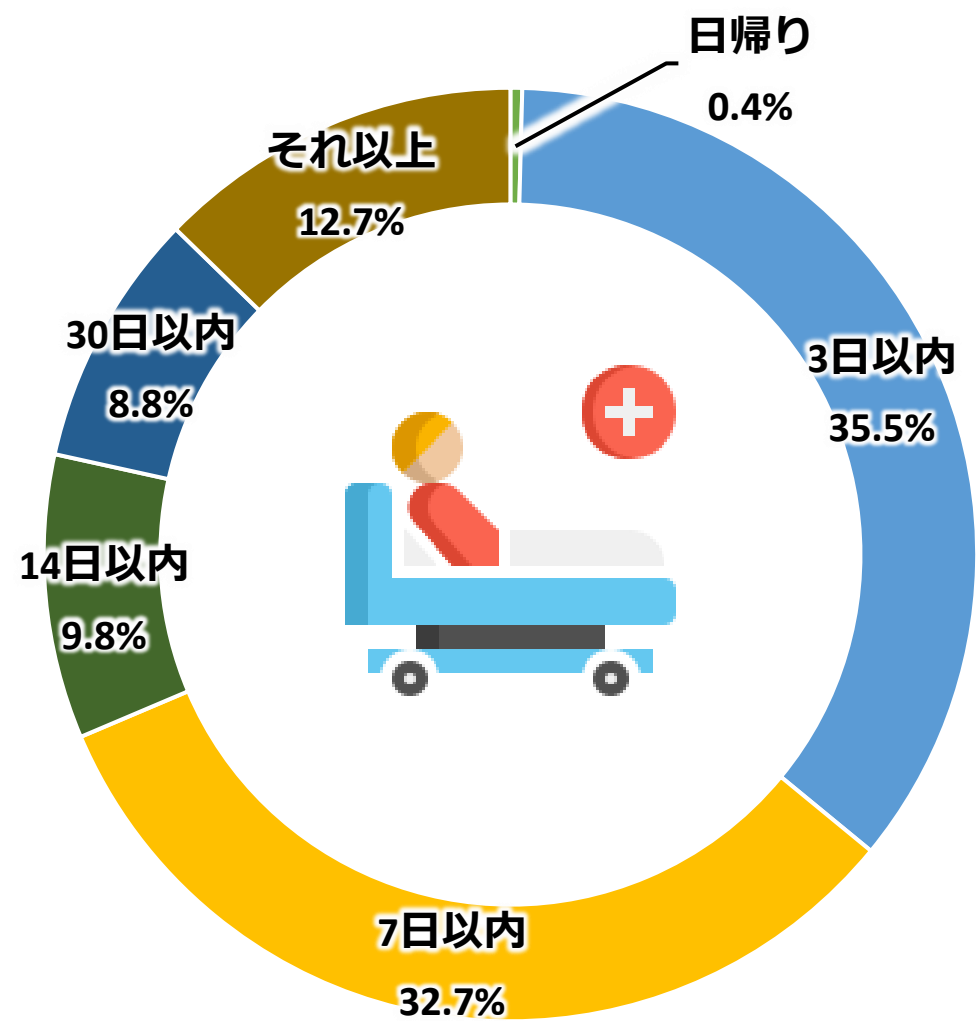
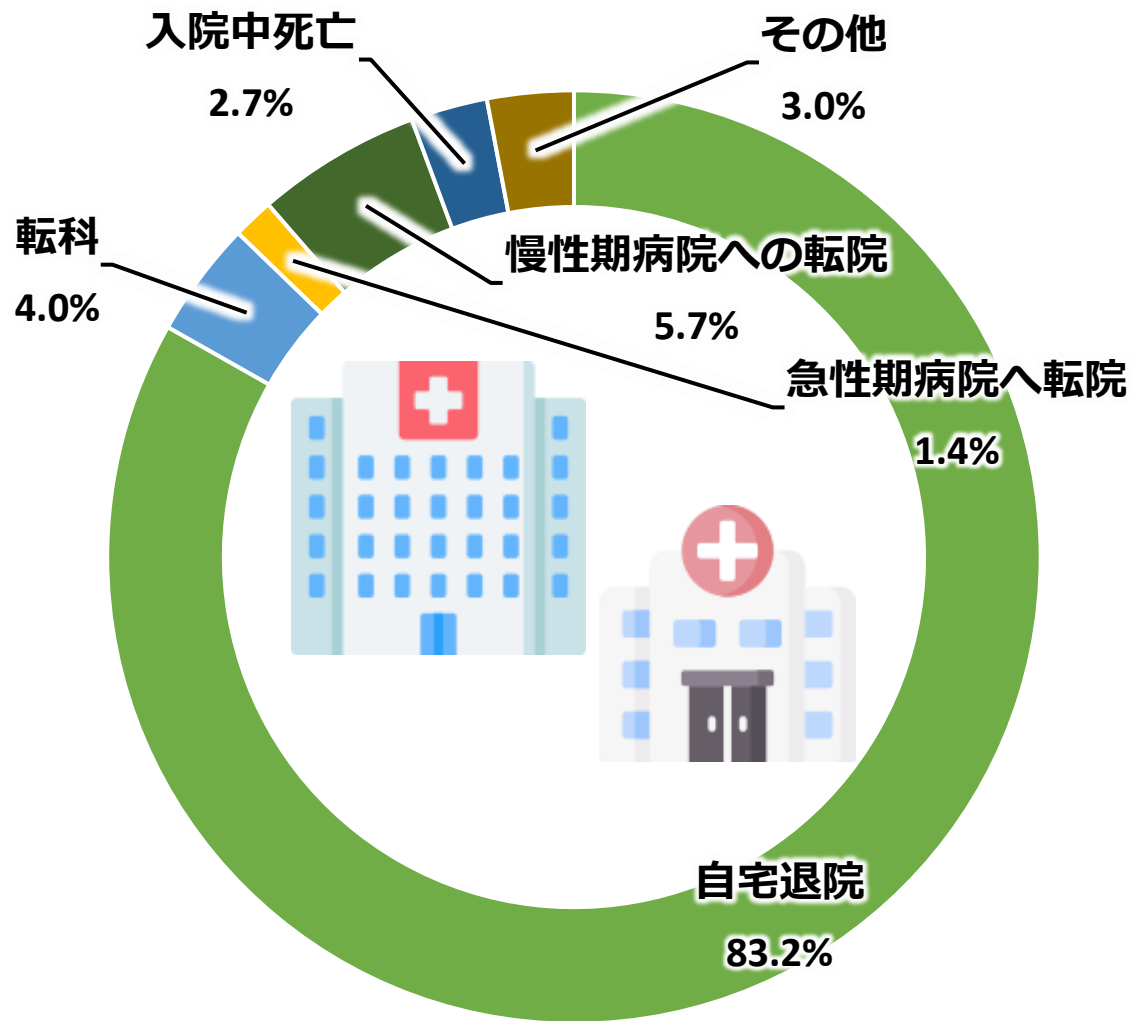


DOAC使用
年次推移

J-EVT | LEADに対する治療成績: IVUSは約2/3に使用、術時間110分

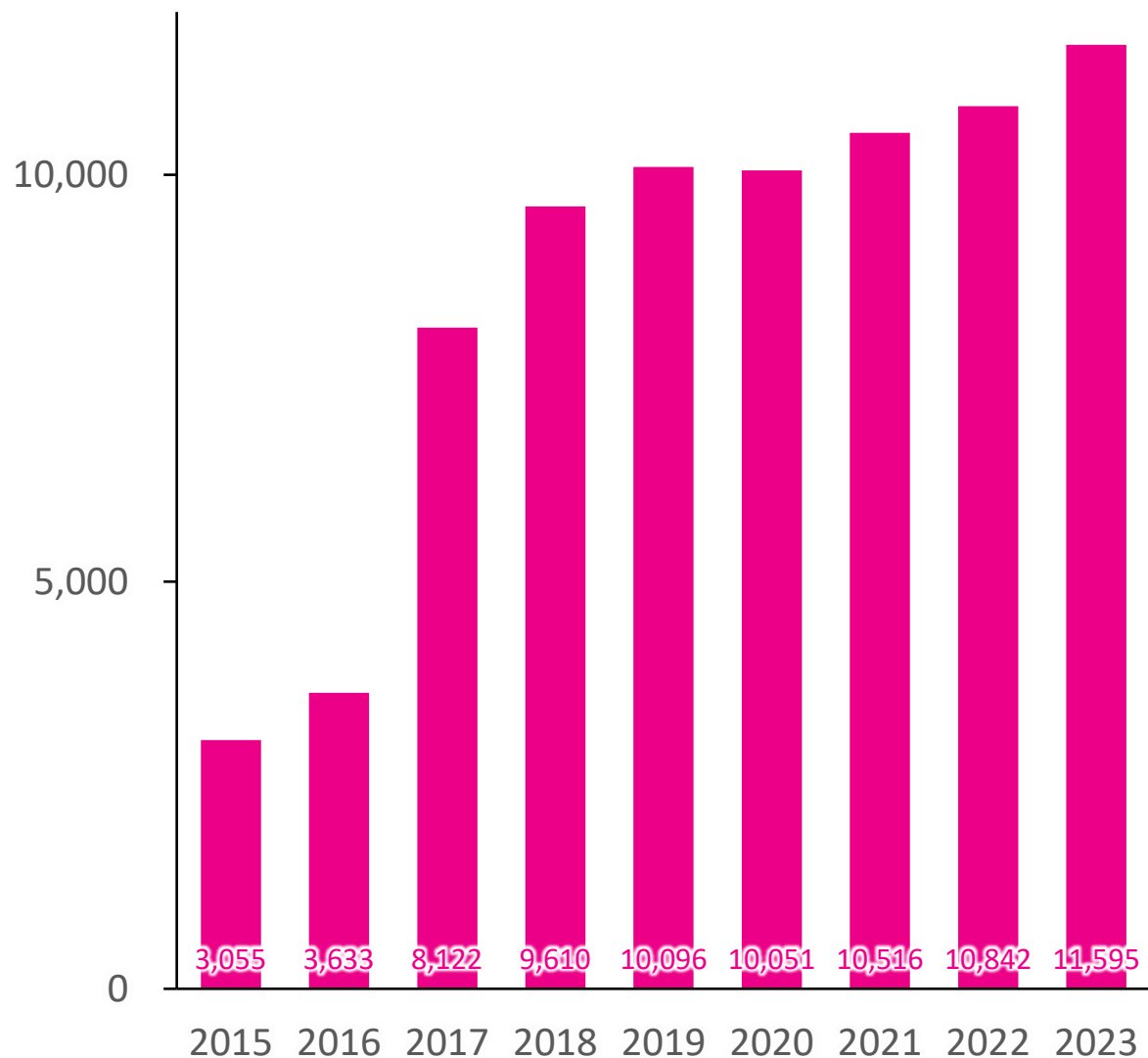
手技成績	
緊急	4.2% [1915/45809]
血管内超音波使用	65.6% [30069/45809]
手術時間	110 (72 - 163) [n=31202]
透視時間	30 (18 - 51) [n=41810]
造影剤量	80 (50 - 117) [n=45809]
術期合併症	2.8% (95%CI: 2.6 - 2.9%) [1264/45809]
全体	100.0% [1264/1264]
術中死亡.術後48時間以内死亡	11.9% [151/1264]
輸血,止血術を必要とする出血性合併症または脳出血	21.4% [151/1264]
緊急外科手術	4.2% [53/1264]
末梢塞栓	12.6% [159/1264]
血管破裂	12.3% [155/1264]
急性閉塞	0.0% [0/1264]
造影剤腎症	2.4% [30/1264]
輸血を必要とする穿刺部合併症	9.3% [118/1264]
補助循環装置を要した心原性ショック	0.6% [8/1264]
心筋梗塞	0.6% [8/1264]
脳梗塞	2.1% [26/1264]
大切断	6.8% [86/1264]
治療部位に対する外科的再治療	2.3% [29/1264]
治療部位に対するカテーテルでの再治療	11.4% [144/1264]
その他	17.0% [215/1264]

J-EVT | LEAD症例における治療後転帰: 自宅退院少、2週間入院多

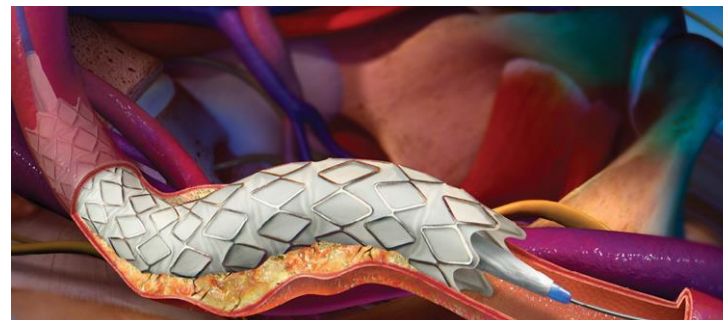


LEAD症例の83.2%は自宅退院、入院中の死亡率は2.7%、慢性期病院転院 5.7%である。
入院期間は、3日以内 35.5%、7日以内 32.7%であり、一方で、残りの31.3%は、2週間以上である。

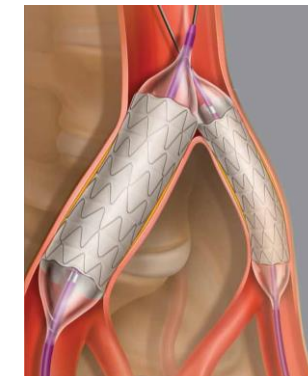
J-EVT | 大動脈・腸骨動脈領域に対する治療成績



カバードステントを用いた大動脈腸骨動脈治療



Viabahn VBX (Gore社)

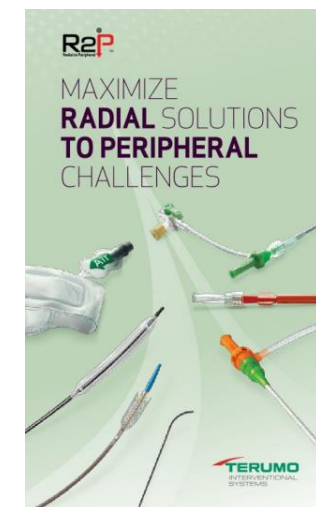


LifeStream (BD社)

橈骨動脈からの腸骨動脈治療

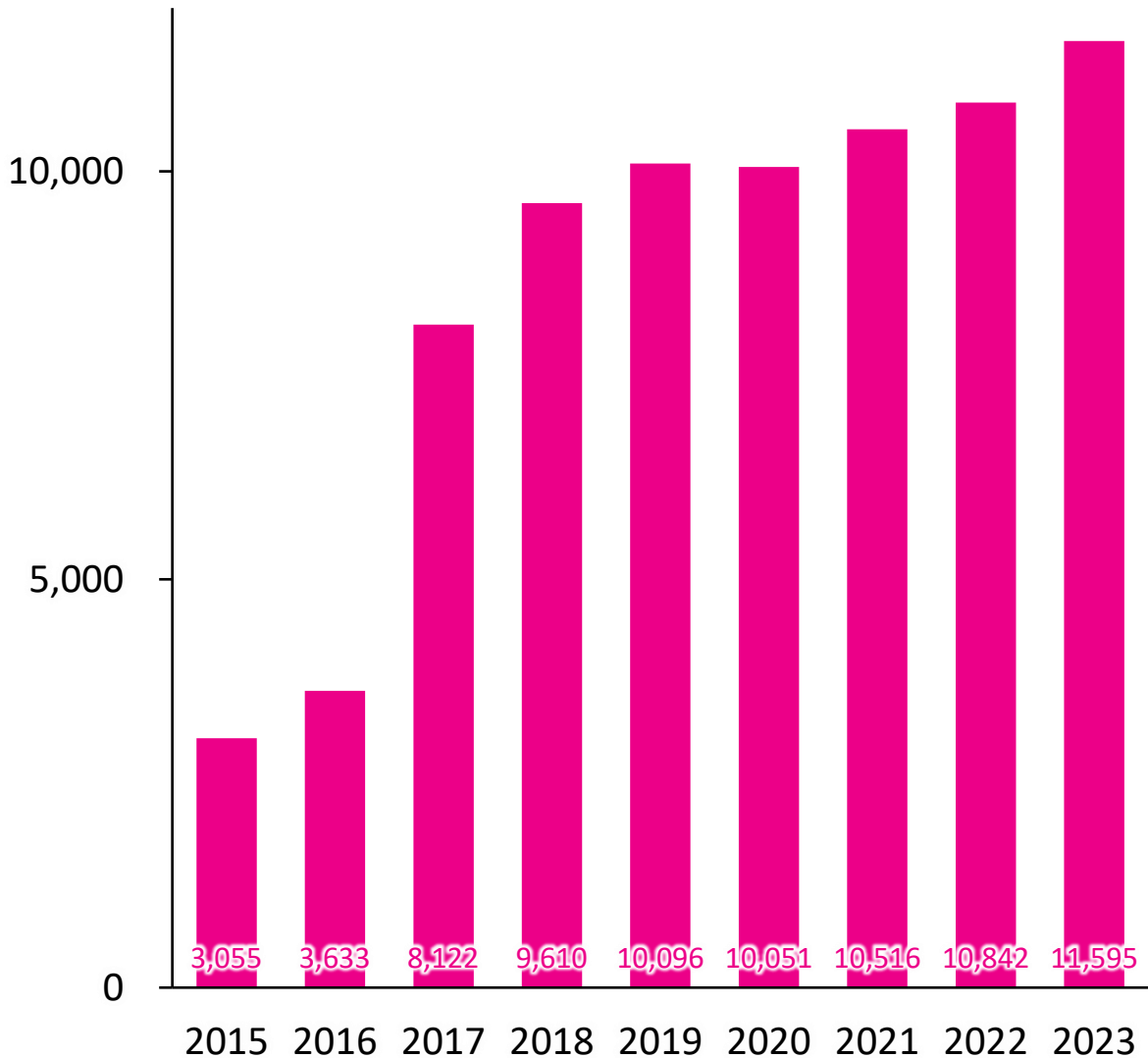


Radianz (Cordis社)



R2P (Terumo社)

J-EVT | 大動脈・腸骨動脈領域に対する治療成績

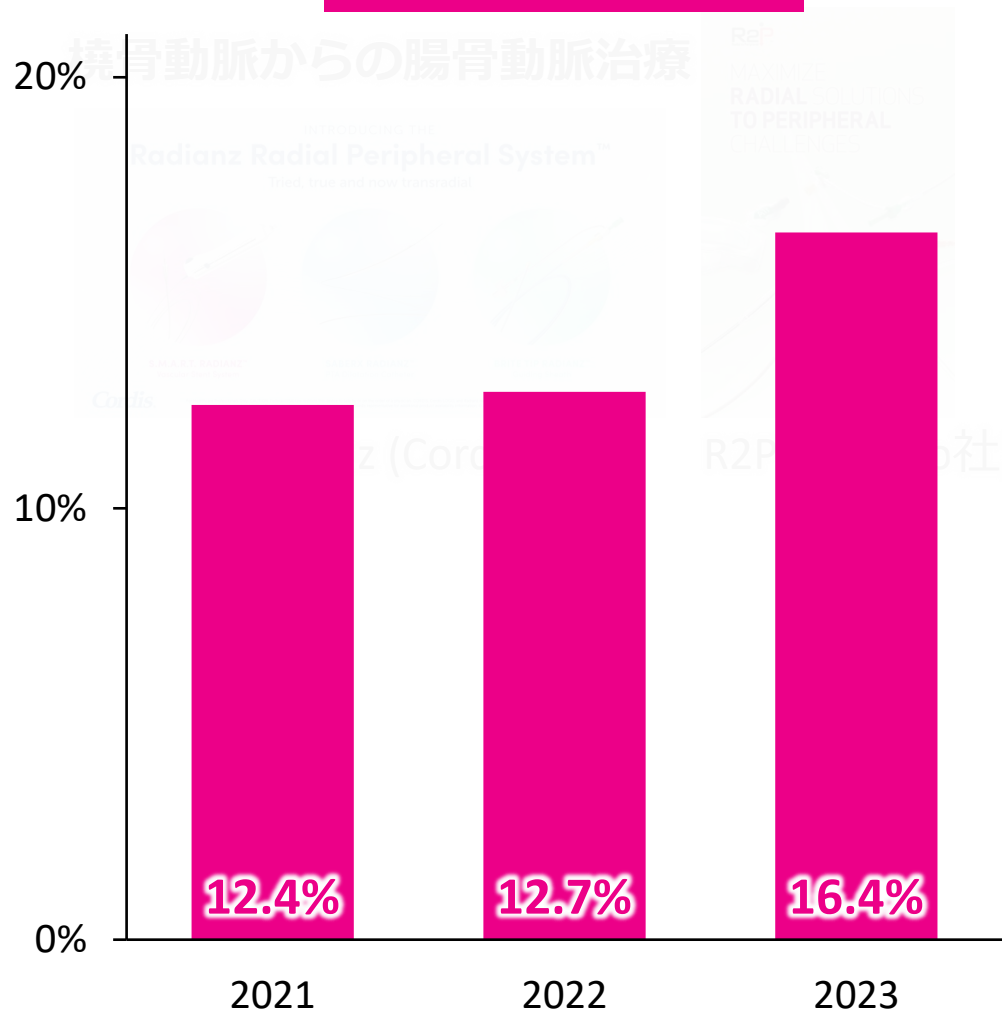


AI.EVT:年間件数	11,595件
手術成功	98.5% [10658/10842]
閉塞	30.7% [3563/11595]
石灰化	
・石灰化 片側性	32.2% [3737/11595]
・石灰化 両側性	35.2% [4082/11595]
・石灰化無	32.6% [3776/11595]
アプローチ.橈骨	16.4% [1904/11595]
アプローチ.上腕	10.5% [1214/11595]
アプローチ.対側腟径	34.9% [4041/11595]
アプローチ.同側腟径	50.0% [5796/11595]
アプローチ.遠位部SFA	2.3% [268/11595]
アプローチ.膝窩動脈	0.6% [73/11595]
アプローチ.脛骨動脈	0.3% [32/11595]
アプローチ.足背動脈	0.8% [88/11595]
デバイス.バルーン	73.7% [8551/11595]
デバイス.ステント	78.9% [9143/11595]
デバイス.カバードステント	8.0% [931/11595]
デバイス.ハイブリッド	0.5% [62/11595]
デバイス.その他	3.2% [371/11595]

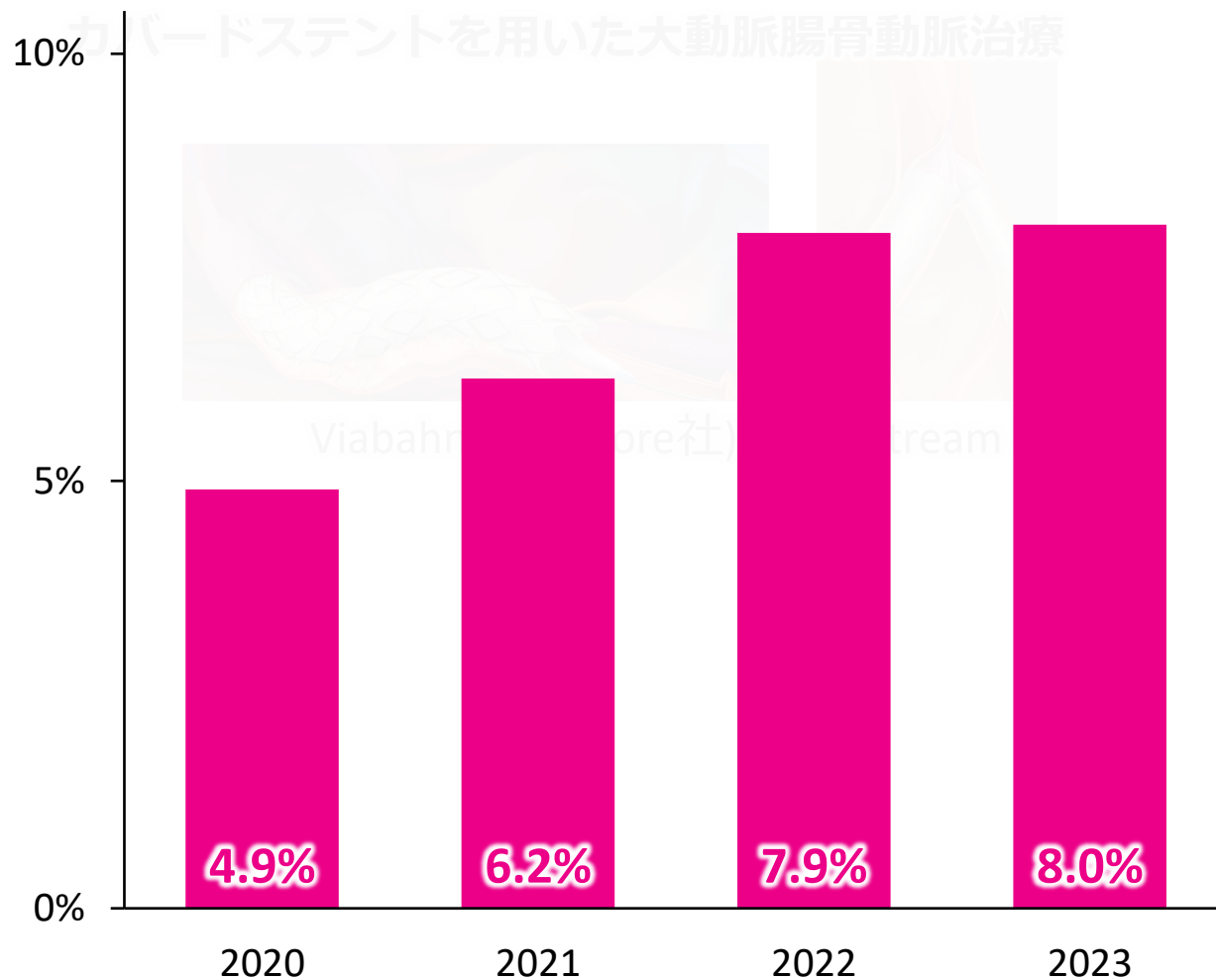
初期成功率 98.5%、閉塞病変 30.7%、石灰化病変 67.4%、
橈骨動脈穿刺 16.4%、カバードステント使用 8.0%

J-EVT | 大動脈・腸骨動脈領域に対する2つのトピックス

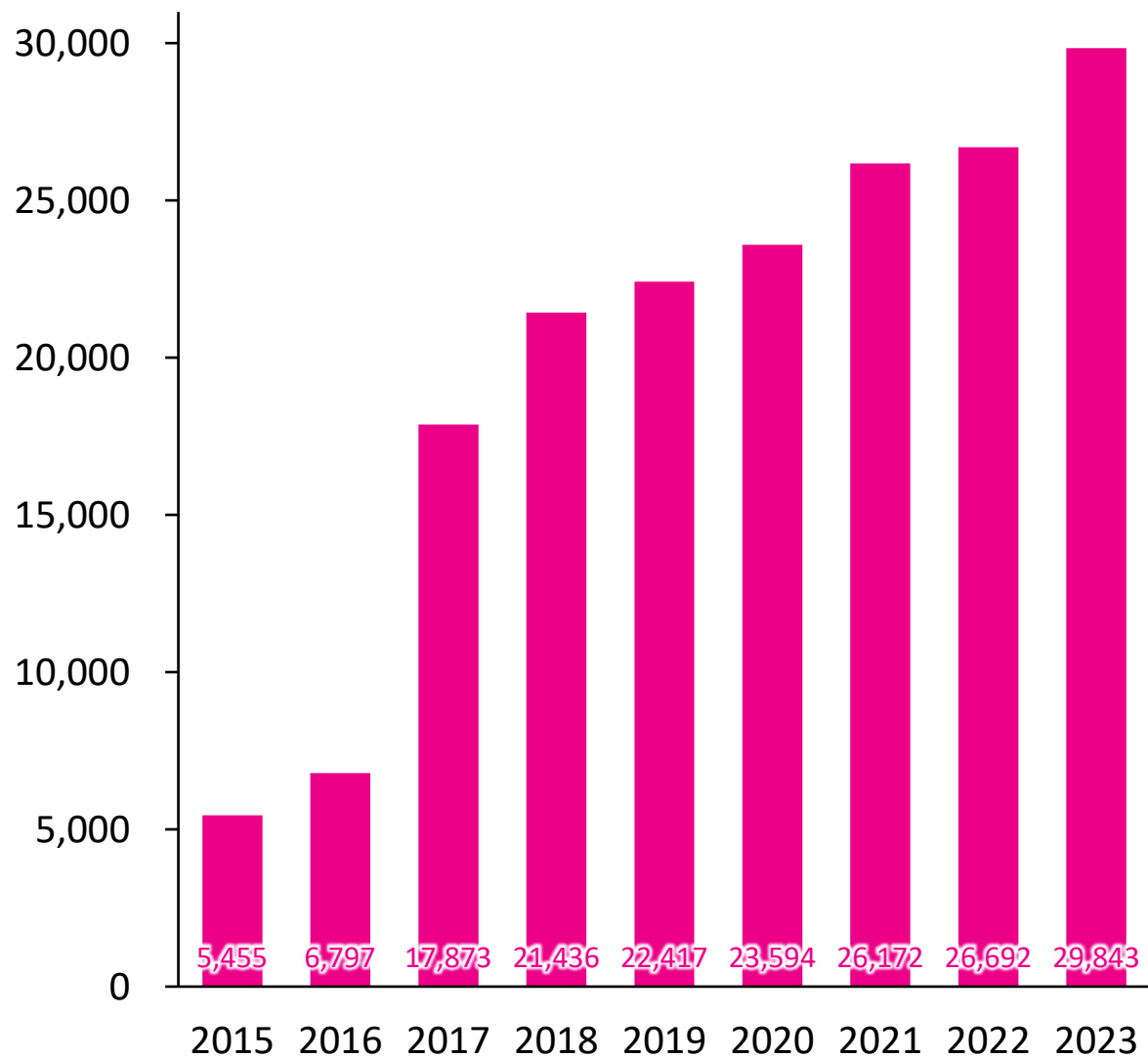
TR-EVT頻度推移



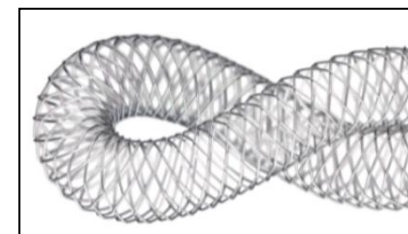
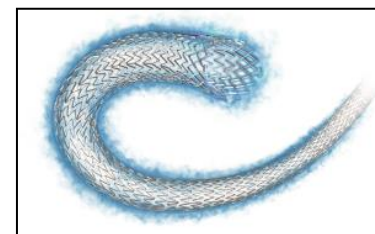
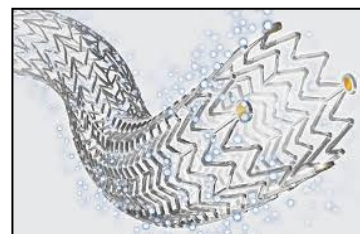
カバードステント使用頻度推移



J-EVT | 大腿・膝窩動脈領域に対する治療成績



薬剤コートバルーン



薬剤溶出性ステント

編込型金属製ステント

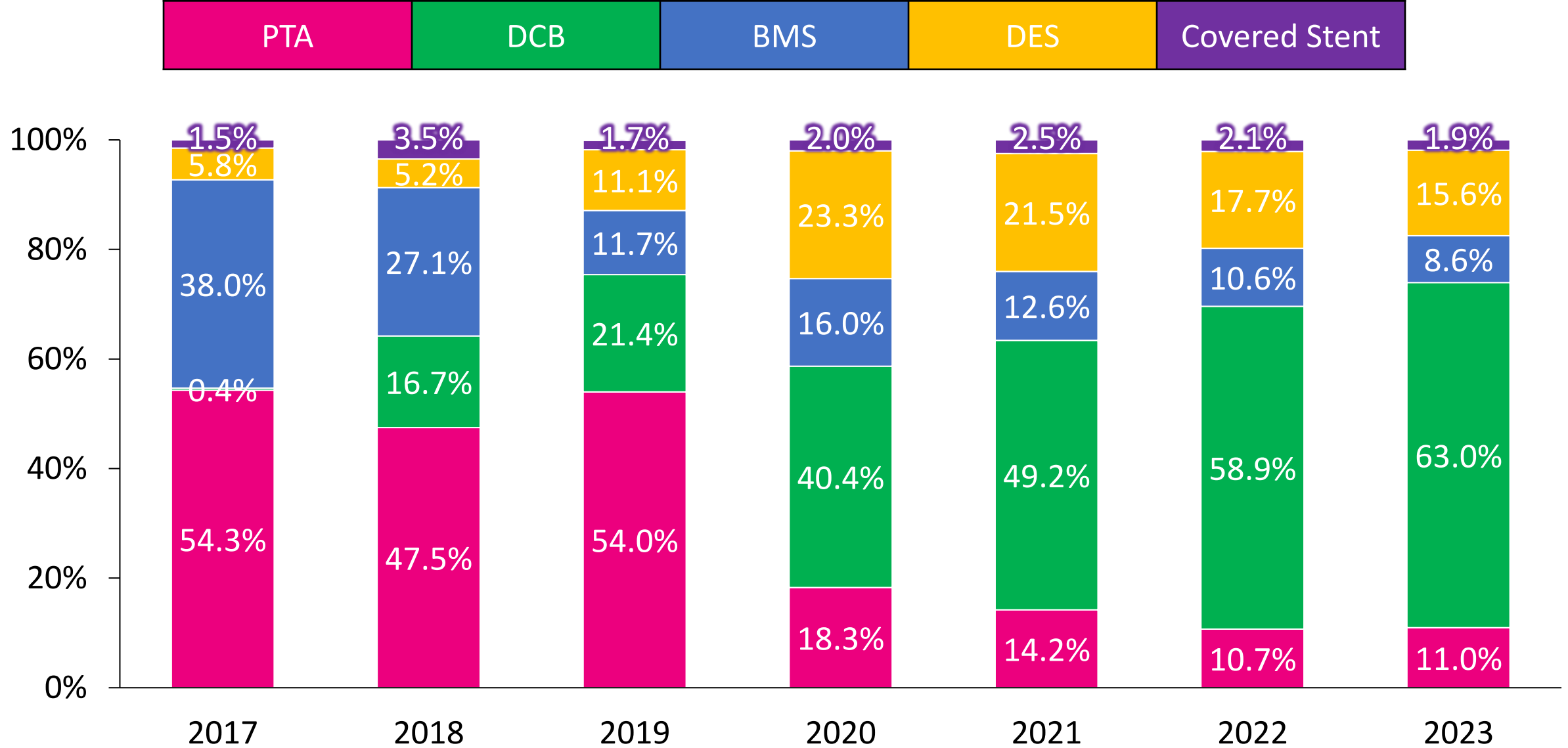


ステントグラフト

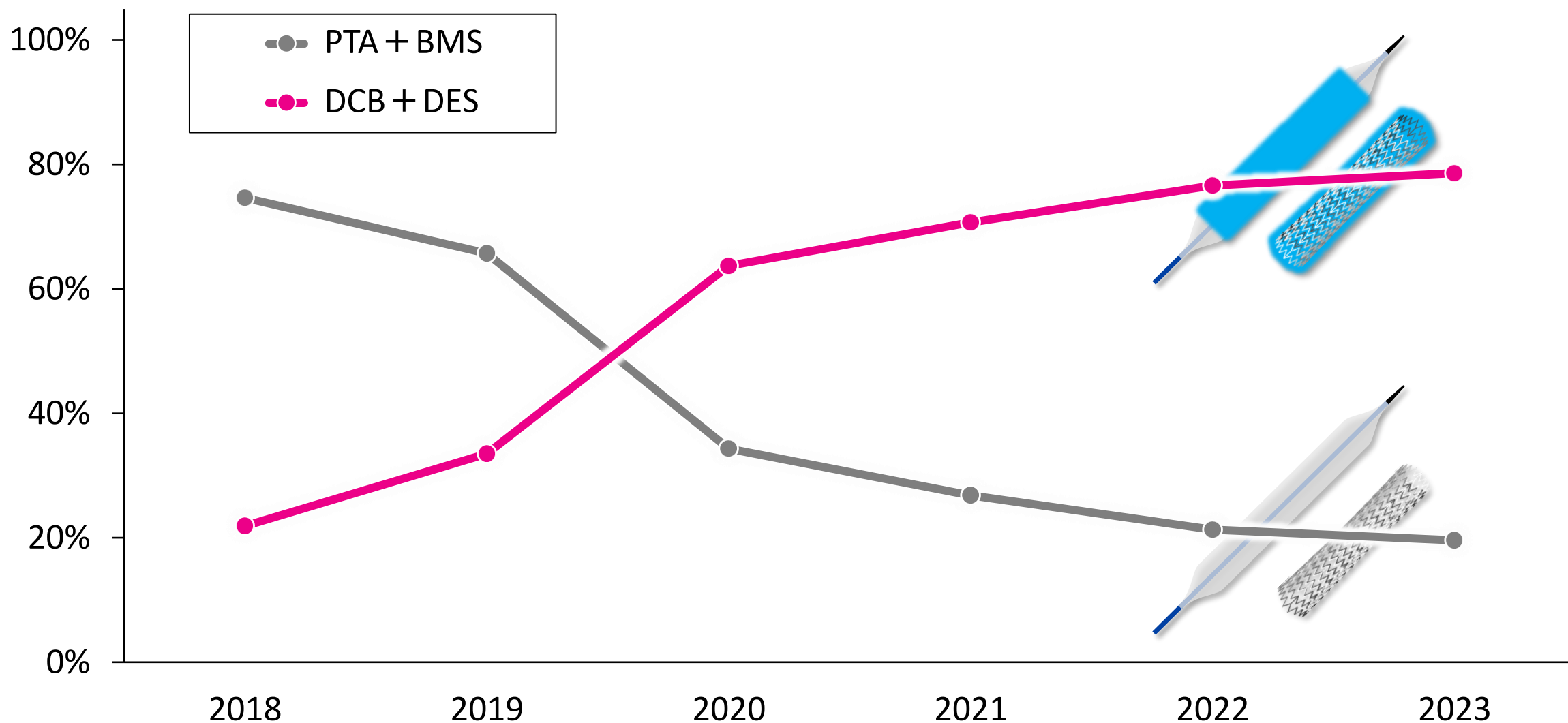


アテレクトミーシステム

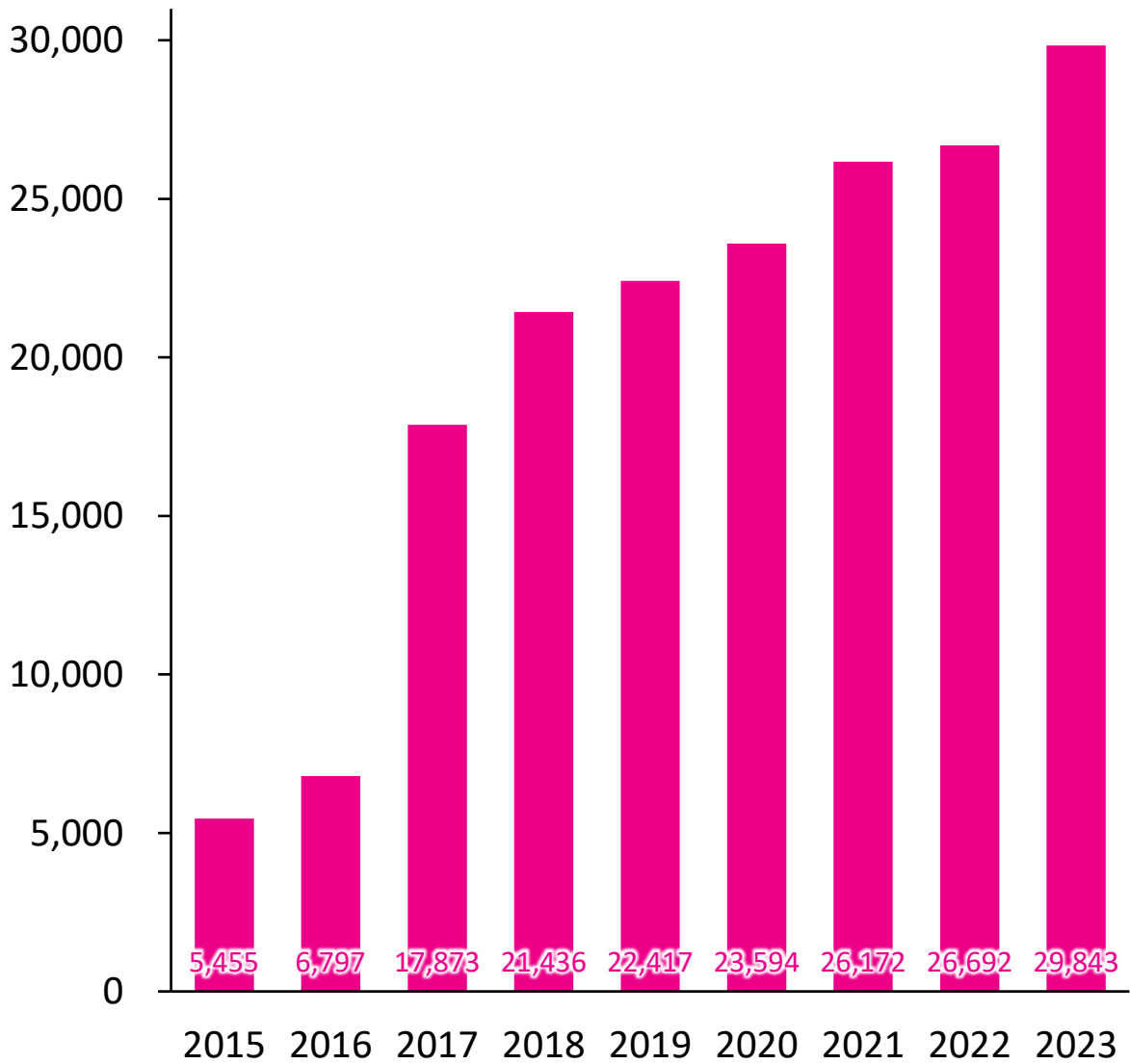
J-EVT | 大腿・膝窩動脈領域に対する治療成績 デバイス使用推移



J-EVT | 大腿・膝窩動脈領域に対するPTX/非PTXデバイス 使用推移



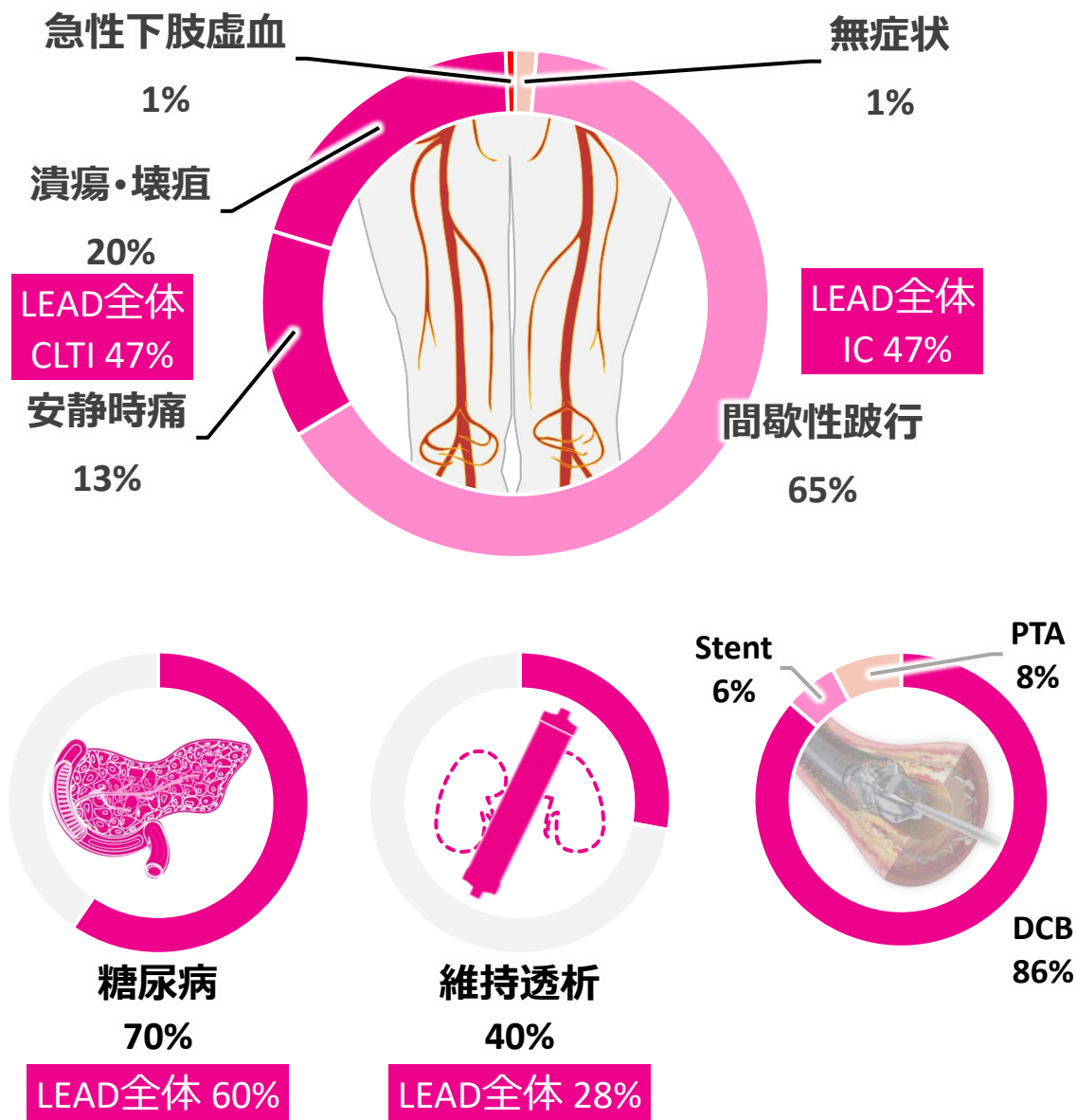
J-EVT | 大腿・膝窩動脈領域に対する治療成績



FP.EVT:年間件数	29,843件
手術成功	97.6% [29135/29843]
閉塞	45.5% [13565/29843]
石灰化	
・石灰化 片側性	30.3% [9056/29843]
・石灰化 両側性	39.9% [11920/29843]
・石灰化無	29.7% [8867/29843]
アプローチ.橈骨	2.1% [636/29843]
アプローチ.上腕	3.5% [1030/29843]
アプローチ.対側兎径	45.0% [13430/29843]
アプローチ.同側兎径	46.7% [13922/29843]
アプローチ.遠位部SFA	2.8% [843/29843]
アプローチ.膝窩動脈	1.9% [579/29843]
アプローチ.脛骨動脈	0.8% [234/29843]
アプローチ.足背動脈	1.8% [523/29843]
デバイス.バルーン	74.9% [22343/29843]
デバイス.ステント	8.7% [2607/29843]
デバイス.薬剤溶出ステント	15.8% [4706/29843]
デバイス.薬剤塗布バルーン	63.8% [19050/29843]
デバイス.カバードステント	1.9% [555/29843]
デバイス.アテレクトミー.ジェットストリーム	2.2% [664/29843]
デバイス.ELCA	0.5% [140/29843]

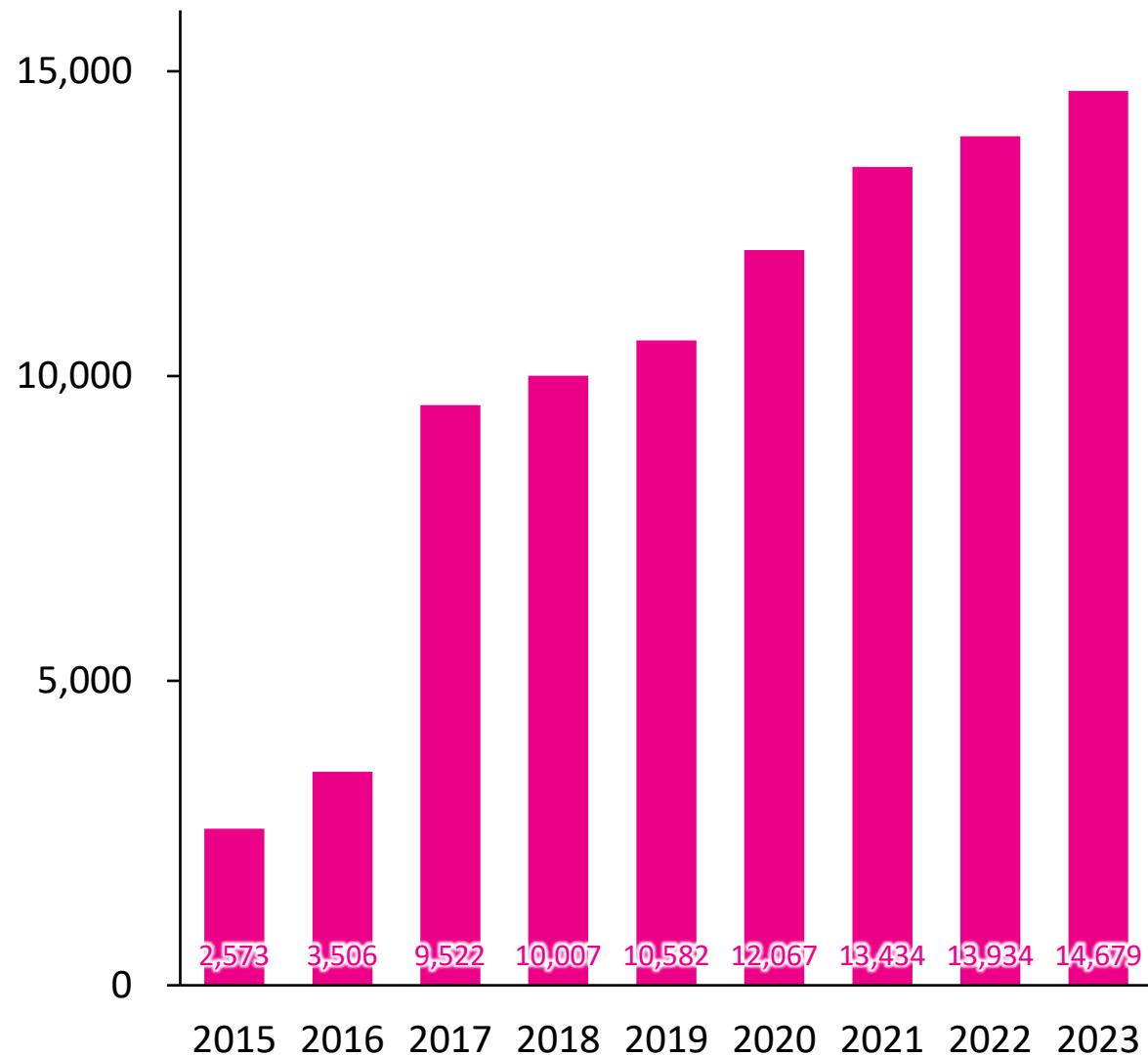
初期成功率97.6%,閉塞病変 45.5%、石灰化病変 70.2%、
DES 15.8%、DCB 63.8%、ジェットストリーム 2.2%

J-EVT | 大腿・膝窩動脈領域に対するJetStream使用成績 (N=663)

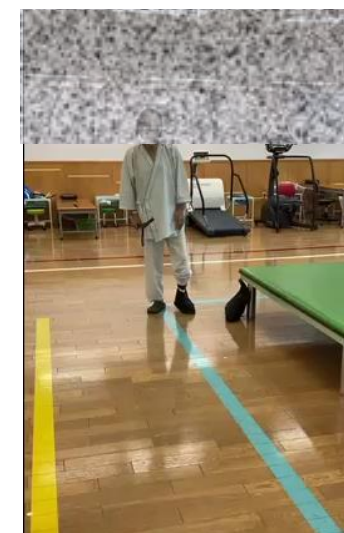
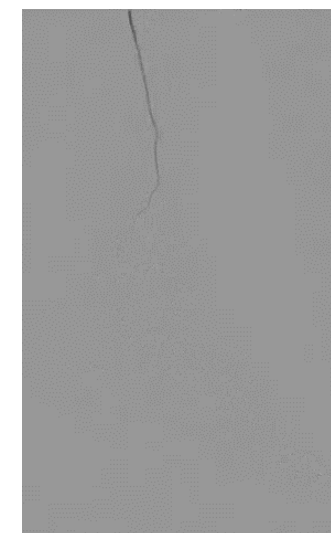
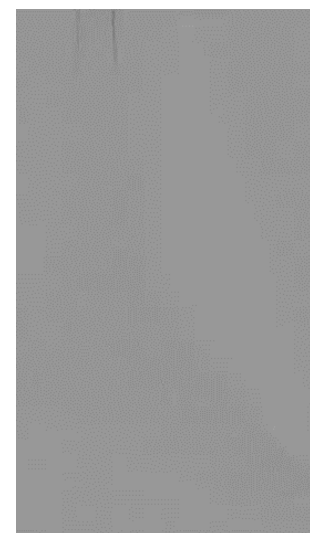


手術成績	
手術時間	105 (77 - 146) [n=457]
IVUS使用	87.6% [581/663]
術期合併症 (全疾患共通)	3.0% (95%CI: 1.9-4.6%) [20/663]
全体	100.0% [20/20]
術中死亡.術後48時間以内死亡	0.0% [0/20]
輸血.止血術を必要とする出血性合併症または脳出血	10.0% [2/20]
末梢塞栓 LEAD全体: 1.5% (10/663)	50.0% [10/20]
血管破裂	5.0% [1/20]
輸血を必要とする穿刺部合併症	20.0% [4/20]
治療部位に対するカテーテルでの再治療	10.0% [2/20]
その他	10.0% [2/20]
手術成功	99.5% (95%CI: 98.7-99.9%) [660/663]
閉塞	38.0% [252/663]
石灰化	
・石灰化 片側性	18.7% [124/663]
・石灰化 両側性	78.7% [522/663]
・石灰化無	2.6% [17/663]
アプローチ.対側単径	37.1% [246/663]
アプローチ.同側単径	56.3% [373/663]

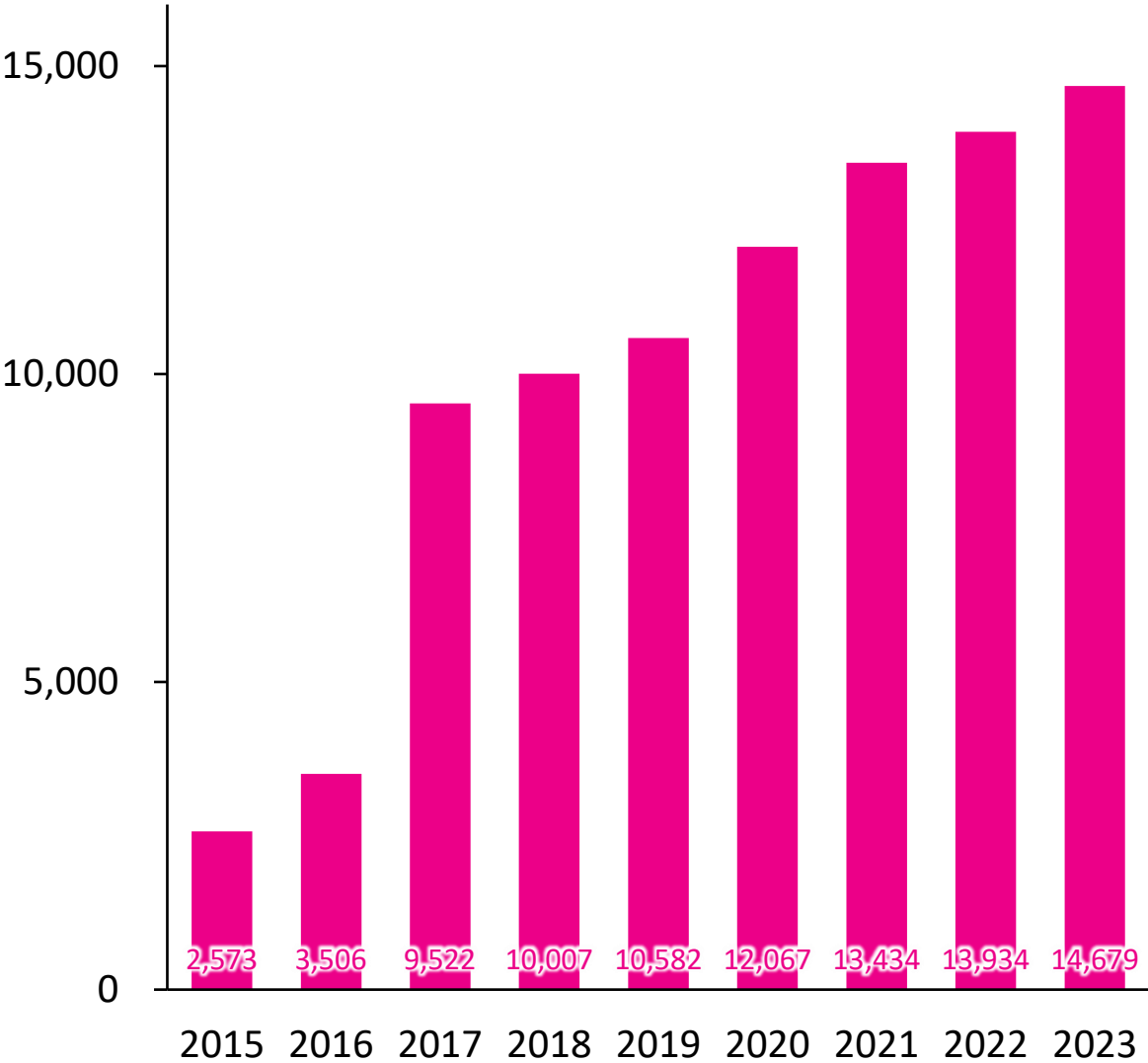
J-EVT | 下腿(膝下)動脈領域に対する治療成績



-膝下動脈は包括的高慢性下肢虚血 (CLTI) のみに適応-



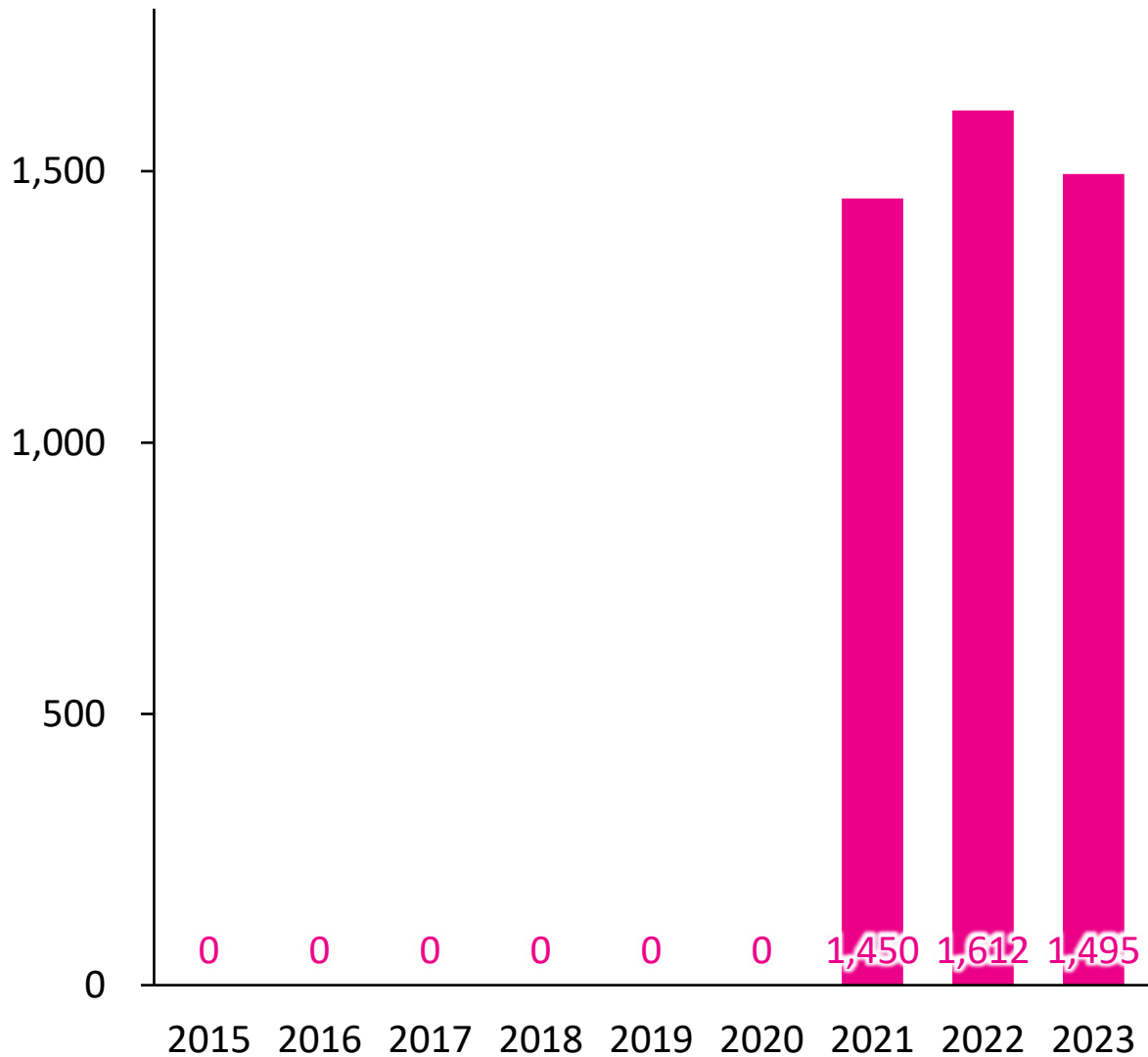
J-EVT | 下腿(膝下)動脈領域に対する治療成績



BK.EVT:年間件数	14,679件
手術成功	95.6% [14026/14679]
閉塞	67.1% [9846/14679]
石灰化	
・石灰化 片側性	24.8% [3639/14679]
・石灰化 両側性	46.1% [6774/14679]
・石灰化無	29.1% [4266/14679]
アプローチ.橈骨	0.2% [47/14679]
アプローチ.上腕	0.4% [66/14679]
アプローチ.対側腟径	13.5% [1978/14679]
アプローチ.同側腟径	83.2% [12214/14679]
アプローチ.遠位部SFA	2.1% [305/14679]
アプローチ.膝窩動脈	0.1% [21/14679]
アプローチ.脛骨動脈	0.9% [125/14679]
アプローチ.足背動脈	2.2% [330/14679]
デバイス.バルーン	98.2% [14409/14679]
デバイス.その他	5.9% [867/14679]

初期成功率 95.6%、閉塞 67.1%、石灰化病変 70.9%、
同側大腿動脈穿刺 83.2%、通常バルーン治療 98.2%

J-EVT | 足関節以遠動脈領域に対する治療成績

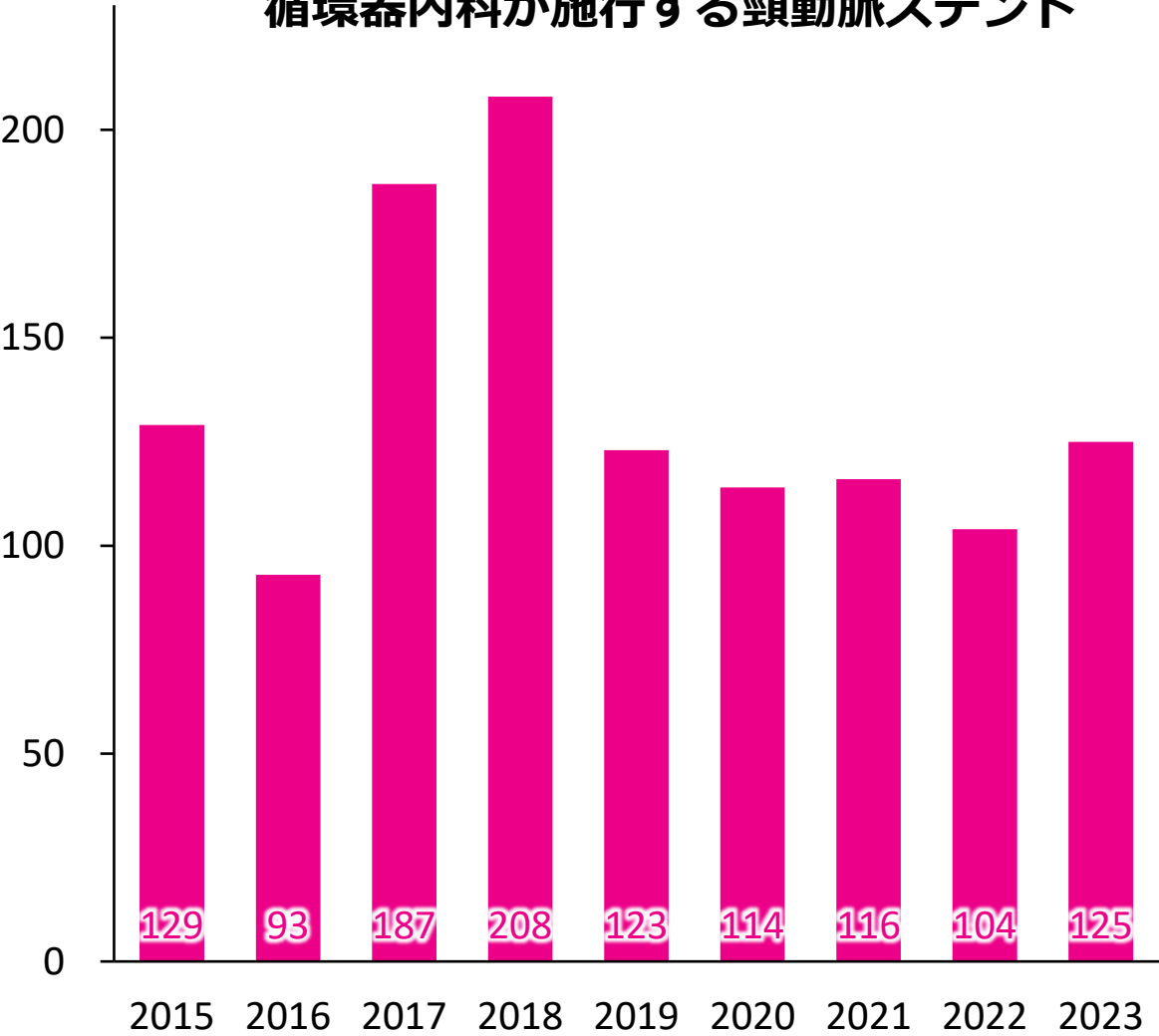


BA.EVT:年間件数	1,495件
手術成功	92.6% [1385/1495]
閉塞	68.9% [1030/1495]
石灰化	
・石灰化 片側性	20.3% [303/1495]
・石灰化 両側性	47.2% [705/1495]
・石灰化無	32.6% [487/1495]
アプローチ.橈骨	0.2% [3/1495]
アプローチ.上腕	0.0% [0/1495]
アプローチ.対側鼠径	7.2% [107/1495]
アプローチ.同側鼠径	91.4% [1366/1495]
アプローチ.遠位部SFA	1.7% [26/1495]
アプローチ.膝窩動脈	0.0% [0/1495]
アプローチ.脛骨動脈	0.3% [5/1495]
アプローチ.足背動脈	1.5% [22/1495]
デバイス.バルーン	98.2% [1468/1495]
デバイス.その他	2.7% [41/1495]

初期成功率 92.6%、閉塞 68.9%、石灰化病変 67.5%、
同側大腿動脈穿刺 91.4%、治療件数の増加なし!

J-EVT | 頸動脈に対する治療成績 (N=125)

循環器内科が施行する頸動脈ステント



特集 虚血性脳血管障害

頸動脈狭窄症に対する治療選択
—エビデンスからみた頸動脈ステント留置術の位置づけ、今後の展開について—

里見 淳一郎
きたじま田岡病院脳神経外科

Optimal Treatment for Carotid Artery Stenosis: Current Status and Future Perspective

Junichiro Satomi, M.D., Ph.D.
Department of Neurosurgery, Kitajima Taoka Hospital

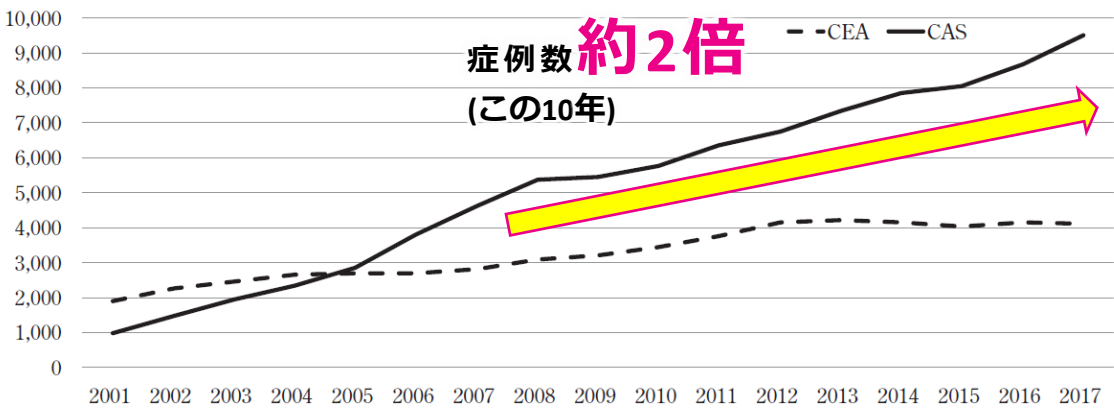


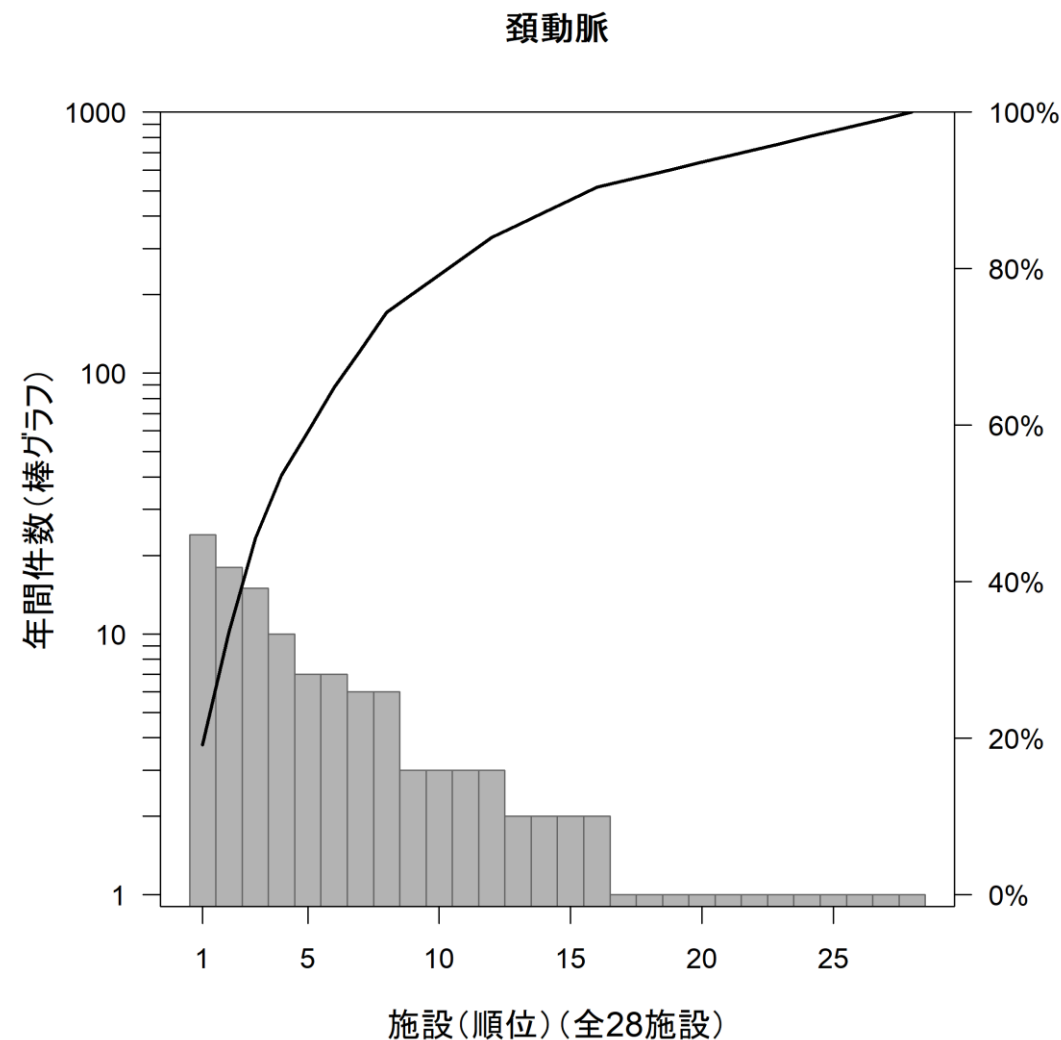
Fig. 1 Trends in the number of procedure of carotid revascularization
(Data from Annual Report of Japan Neurosurgical Society)

循環器医による頸動脈ステント治療の件数は変化なし、脳外科領域では激増 (おそらく年間1万件)

J-EVT | 頸動脈に対する治療成績 (N=125)

危険因子・薬剤

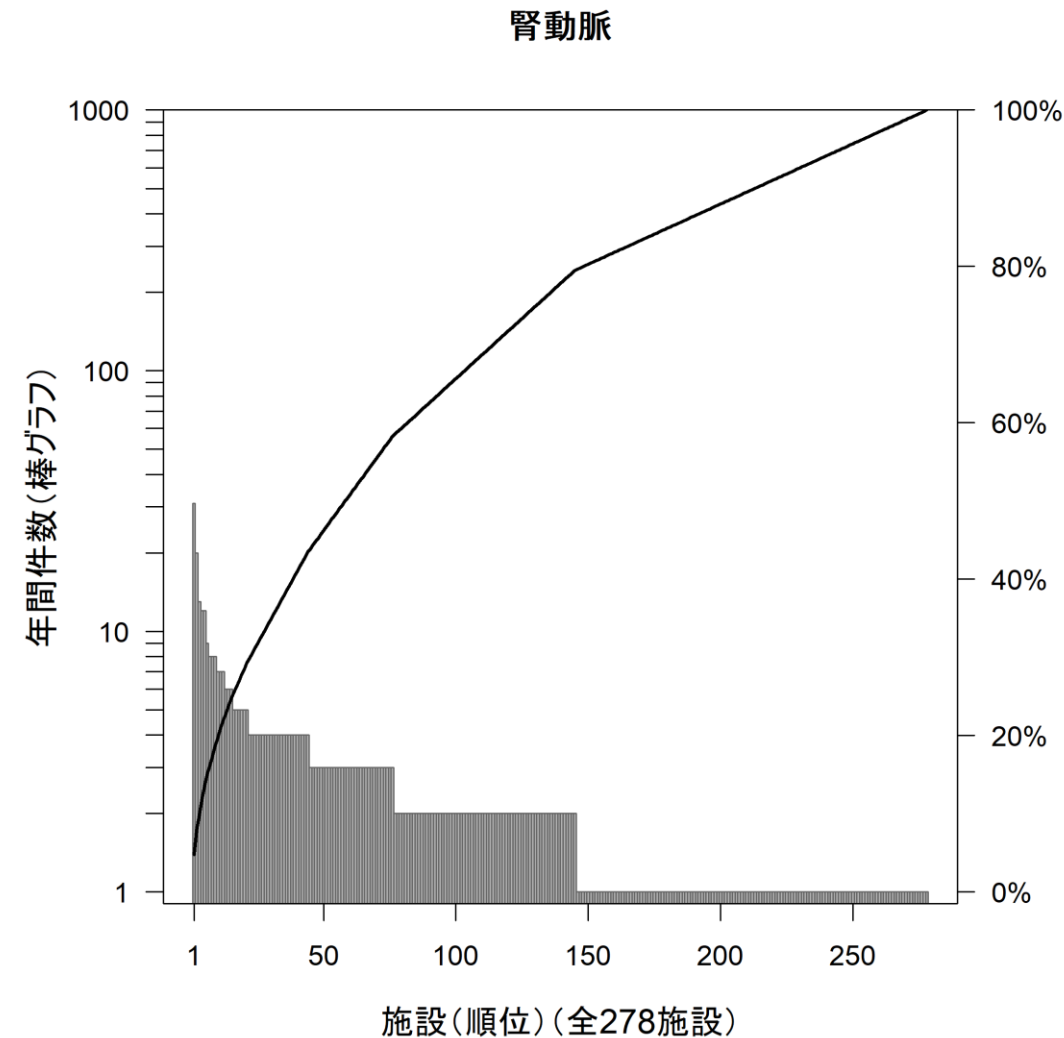
男性	81.6% [102/125]
年齢	77 (71 - 81) [n=125]
喫煙	17.6% [22/125]
高血圧	82.4% [103/125]
脂質異常症	62.4% [78/125]
糖尿病	35.2% [44/125]
腎不全/透析	12.8%/1.6% [16/125]/[2/125]
冠動脈疾患	43.2% [54/125]
脳血管疾患	44.8% [56/125]
COPD	3.2% [4/125]
術前.アスピリン	93.6% [117/125]
術前. P2Y12阻害薬	88.8% [111/125]
術前.シロスタゾール	4.0% [5/125]
術前.他の抗血小板薬	1.6% [2/125]
術前.ワルファリン	0.8% [1/125]
術前.DOAC	5.6% [7/125]



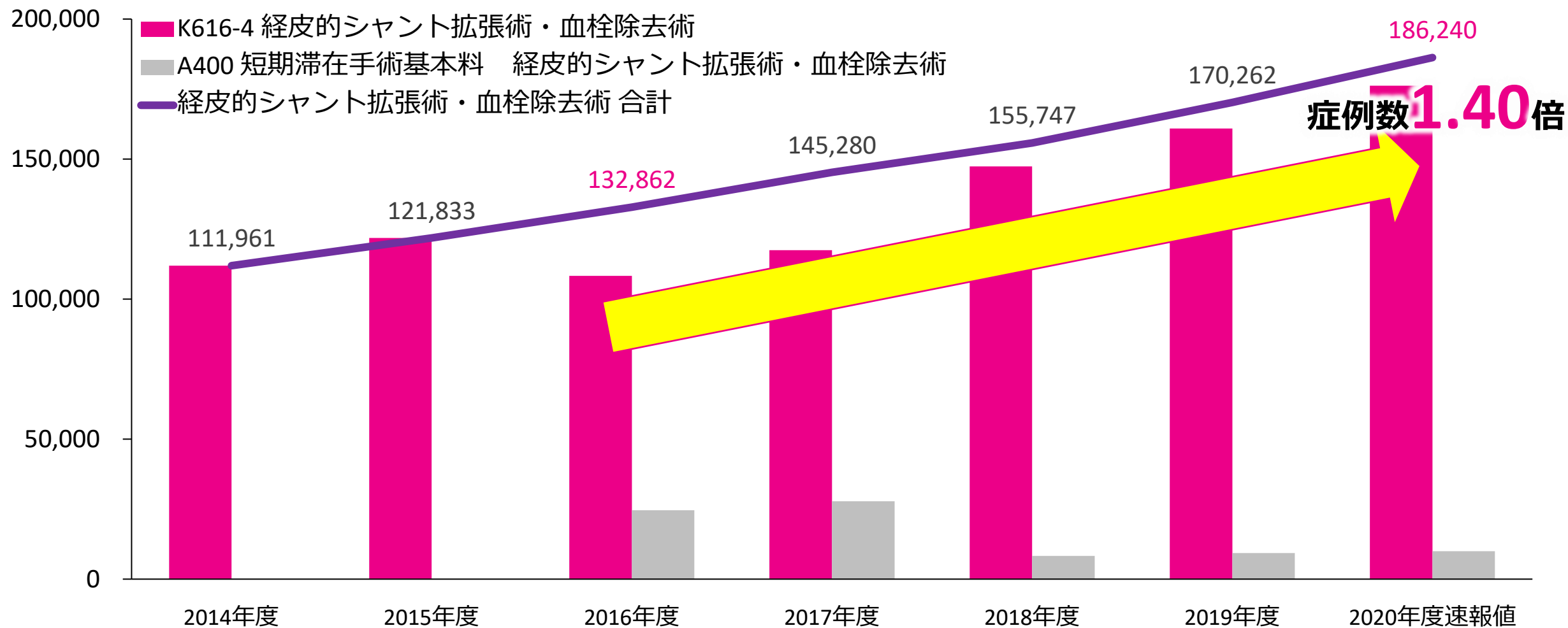
J-EVT | 腎動脈に対する治療成績 (N=649)

危険因子・薬剤

男性	63.9% [415/649]
年齢	75 (66 - 81) [n=649]
喫煙	23.6% [153/649]
高血圧	90.3% [586/649]
脂質異常症	53.5% [347/649]
糖尿病	34.7% [225/649]
腎不全/透析	53.5%/2.0% [347/649]/[13/649]
冠動脈疾患	31.3% [203/649]
脳血管疾患	8.9% [58/649]
COPD	3.4% [22/649]
術前.アスピリン	81.1% [488/602]
術前. P2Y12阻害薬	72.3% [435/602]
術前.シロスタゾール	4.0% [24/602]
術前.他の抗血小板薬	10.6% [64/602]
術前.ワルファリン	2.2% [13/602]
術前.DOAC	10.0% [60/602]

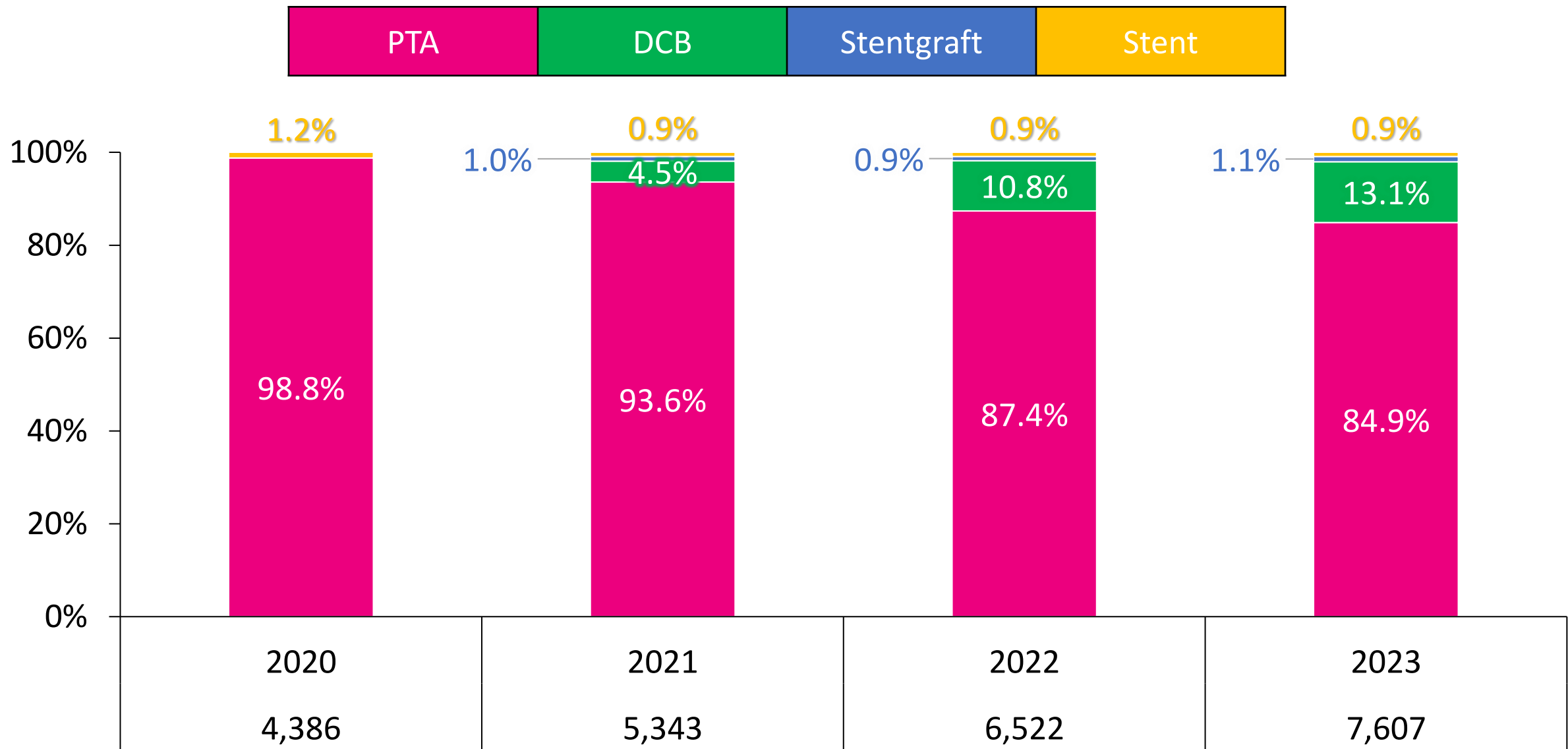


J-EVT | AV accessに対するVAIVT推移 (NBDデータベースより)



透析医が施行するVAIVT件数は、**激増 (年間20万件に到達する勢い)**している

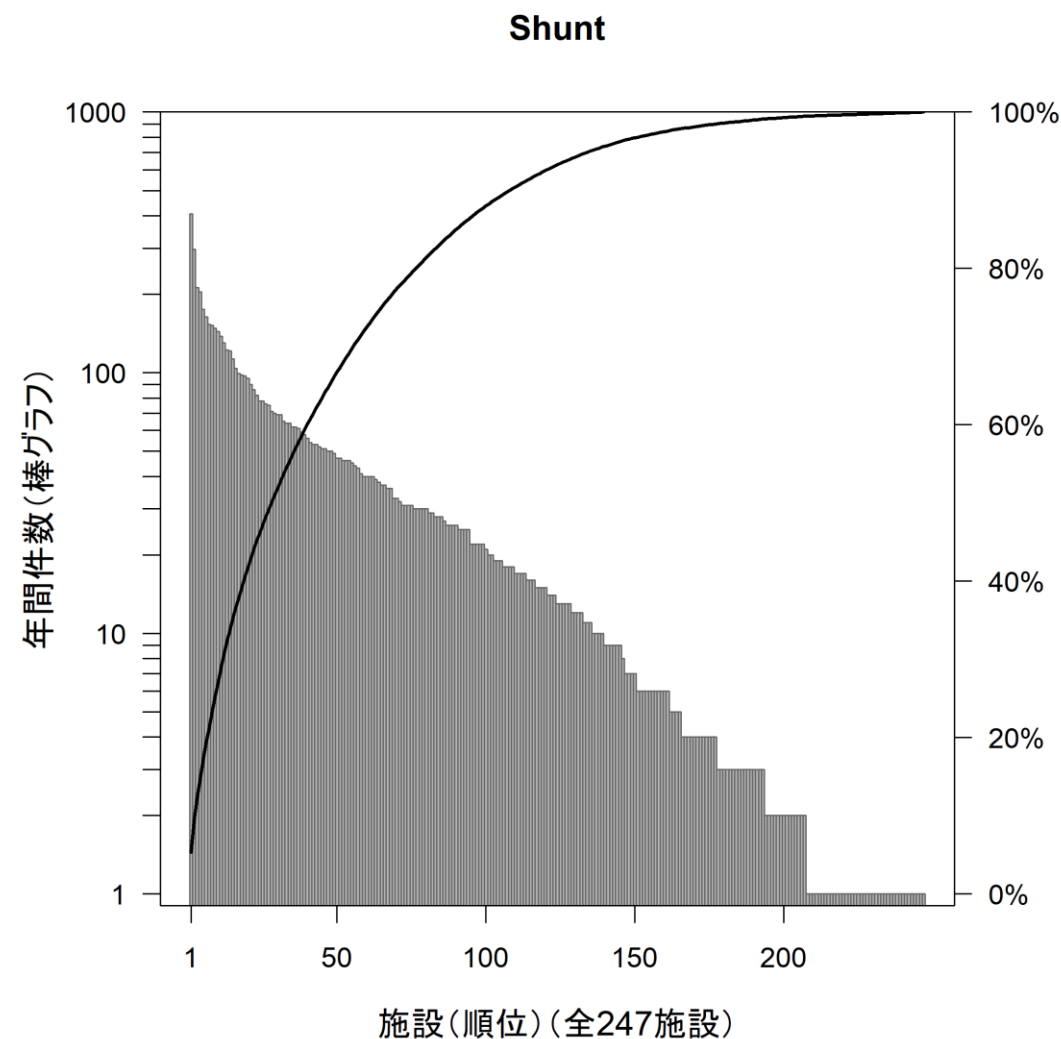
J-EVT | シャントに対する治療成績 デバイス使用推移



J-EVT | シヤントに対する治療成績 (N=7,607)

危険因子・薬剤

男性	64.7% [4922/7607]
年齢	75 (67 - 81) [n=7607]
喫煙	11.0% [833/7607]
高血圧	72.4% [5508/7607]
脂質異常症	34.1% [2593/7607]
糖尿病	49.8% [3787/7607]
腎不全/透析	86.1%/96.5% [6548/7607]/[7337/7607]
冠動脈疾患	22.5% [1711/7607]
脳血管疾患	12.3% [939/7607]
COPD	2.1% [160/7607]
術前.アスピリン	62.6% [2559/4085]
術前. P2Y12阻害薬	38.8% [1587/4085]
術前.シロスタゾール	5.5% [223/4085]
術前.他の抗血小板薬	5.3% [218/4085]
術前.ワルファリン	16.3% [664/4085]
術前.DOAC	0.4% [18/4085]



AV accessに対するEVT症例数は増加傾向、DCB使用頻度は↑、ステントグラフト使用頻度は→

J-EVT 2023 | まとめ

末梢動脈疾患に対するEVT総件数: **55,816**件 (2022年: 50,667件)

そのうち、LEADに対するEVT件数: **45,809**件 (2022年: 41,828件)

LEADに対するEVT

大動脈腸骨動脈病変: 症例数→、Radial Approach頻度↑、カバードステント

大腿膝窩動脈病変: 症例数↑、DCB治療頻度↑、Stent使用頻度↓
今後はアテレクトミーデバイス使用頻度→ (遠位塞栓問題)

膝下動脈病変: 症例数↑ (2/3が閉塞病変、70%が石灰化病変)

足部動脈病変: 症例数→

頸動脈: CAS症例数→ 腎動脈: RAS症例数→

透析シャント: AV access症例数↑